

歩行者街路の日陰空間を考慮した最適経路情報提供システム

藤田素弘（創成シミュレーション工学専攻）

技術概要

本研究では、歩行者が日陰を選んで目的地まで快適に到着できることを支援する。頭の上まですっぽり入る街路の日陰空間を考慮した経路情報を提供するシステムの特許を取得しているが、これを実用化できるよう開発を進める。

背景・従来技術

最近の夏は非常に暑い。多くの人は暑い夏において、街路に日陰があれば、できるだけ日陰空間を選んで歩いている。しかし、歩行者街路における日陰空間は、毎日の天候や、時間帯、歩く方向、街の建物の配置、緑化状況によって大きく異なる。歩行者が日陰を選んで歩こうとしても、上記の要因によって大きく異なる日陰空間を十分に把握して経路を選んで歩くことは

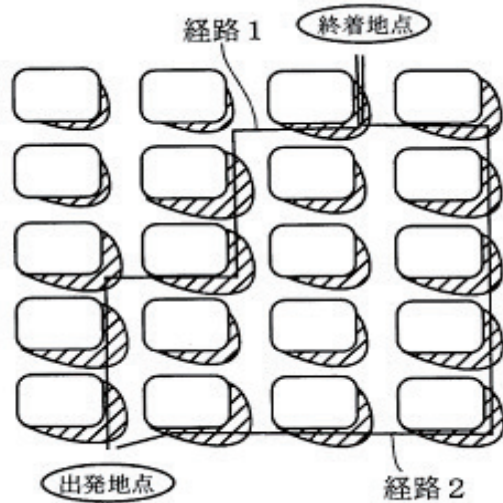
簡単なことではない。そのような支援情報を出すサービスもない。

特徴

携帯端末等で、歩行者が日陰を選んで目的地まで快適に到着できることを支援する情報を提供できるシステムである。頭がすっぽり日陰に入るかどうかまで考慮して日陰歩道状態を評価することが特徴である。

実用化イメージ

歩道の緯度・経度・方角や沿道の建物の高さ等から各時刻の日陰状態（頭がすっぽり入るかどうかなどを含む）を推計し、それを携帯電話等へ分かり易く情報提供する。



	全長	日陰区間 距離総和	日陰区間率
経路 1	300m	250m	80%
経路 2	400m	300m	85%

日陰分布マップ
(〇〇年〇月〇〇日午前〇時～〇時)

歩道の位置、建物の高さ等から日陰状態を評価し、快適に歩くことのできる経路を提案する

企業への提案

研究者から企業へのメッセージ

当研究室では、新しい都市交通空間や交通システムの研究をしています。本技術の詳細に興味がありましたら、産学官連携センターへお尋ねください。

文献・特許

・特許第 4234041 号、『日陰分布地図作成装置及び日陰分布地図作成プログラム』

頭の上まですっぽり入る日陰空間情報はいる

日陰空間情報与えまます

試作品状況

無

提示
可

提供
可